

# 487. 到ル處連續ナ解析函數ニ就イテ I

角谷 静夫 (阪大)

到ル處 ( $\infty$ ヲコメテ) 連續ニテ、ナル閉集合  $E$  以外ニ  
正則ナ函數ノ性質ハ Pompeiu, Denjoy, Goloubeff,  
Urysohn, Federoff, Wolibner 等ニヨツテ研  
究サレタ。<sup>1)</sup>

コノ問題トナルノハ常數以外ニカナル函數ガ存在スル  
タメニ  $E$ ガ満足スベキ必要且ツ十分ナ條件ハ何カト云フコト  
デアリ。(適當ナ一次変換ヲホドコセバ  $E$ ハ有界閉集合ト  
ナルカラ、今後  $E$ ハ有界閉集合デアルト考ヘルコトニナル)。

---

1) Pompeiu, Annales de Toulouse, (2) 7, (1905) p. 314.

Denjoy, C. R. t. 149 (1909) p. 258.

Goloubeff, C. R. t. 158 ( ) p. 1407.

Urysohn, Fundamenta mathematicae t IV, p. 144.

Federoff, Bull. int. Acad. Polonaise, Cracovie,  
1927.

Wolibner, Comptes Rendus, Varsovie, 1933. p. 56.

コレ = 對シ Pompeiu ハ  $E$  が linear measure (Minkowski ノ意味ヲ) が  $\infty$  ナアルコトが必要ナルコトヲ示シ、Urysohn ハ 平面上ノ Cantor ノ集合  $P$  (正確 = 各辺ヲ三等分スルコト = ヨリ得ラレルモノ) = 對シテ、列ル処連続 = テ  $P$  以外 = テ 正則ナ函数が存在スルコトヲ示シタ。シカシ  $E$  が満足スベキ必要且ツ十分ナ條件ヲ測度的 = 決定スルコトハ 困難ナコト = 思ハレル。

更ニ 函数が  $E$  ナ連続ナルコトヲ 假定セズ、單ニ 有界ナルト云フコト = スレバ如何、即チ  $E$  以外ニ於テ 有界正則ナ、常數デナイ一價函数が存在スルタメニ、 $E$  が満足スベキ必要且ツ十分ナ條件ハ如何ト云フコトが問題トナル。2)

同様ナ問題ハ harmonic function ノトキ =  $\epsilon$  考ヘラレ、 $E$  以外ニ於テ 有界、harmonic ナ函数が存在スルタメニ 必要且ツ十分ナ條件ハ  $E$  ノ capacity (正確 = ハ  $E$  ノ  $\log \frac{1}{r}$  = 與スル capacity) が正ナルコトナルコトが知らレテキル。然ルニ capacity zero ノ集合ヲ測度的 = characterize スルコトハ 未知成功シテイナイナル。3)

然ラバ 解析函数ノ場合 =  $\epsilon$  capacity ノ考ヘヲ使ヘバ如何ト云フ = capacity ノ考ヘヲ使ヘバアル程度マ

2) R. Nevanlinna, Eindeutige Analytische Funktionen p. 132.

3) R. Nevanlinna, loc. cit. p. 145.

Frostman, Thèse 紙上談話會 67号 278, 70号 300.

テ様子ハ明カトナル。

即テ

1-1°.  $E$  /  $\frac{1}{r}$  = 関スル capacity<sup>4)</sup> が正デアレバ  $E$  以外  
= テ正則有界ナ常数ヲナイ一價函数が存在スル。

1-2°.  $E$  / linear measure (Hausdorff, 意味,)  
が0ナラバ函数ハ常数以外=存在シナイ。

2-1°.  $\int_0^\infty \frac{h(t)}{t^2} dt < \infty$  ナル如キ  $0 < t < \infty$  = テ定義サレタ

positive nonnegative ナ函数  $h(t)$  = 関シテ測  
ツク  $E$  / 外測度 (Hausdorff, 意味,) が正ナラ  
バ  $E$  以外=テ正則デ  $E$  ヲコトテ連続ナ函数ハ常数  
以外=存在スル。

2-2°.  $E$  / linear measure (Hausdorff, 意味,)  
が有限ナラバ、カナル函数ハ常数以外=存在シナイ。

コトヲ注目=價スル、ハ先ツ第一=  $\frac{1}{r}$  = 関スル capa-  
city が現ハレルコトデアル。コレハ  $E$  以外=テ正則ナ函  
数  $f(z)$  が一般=ハ  $f(z) = \int_E \frac{d\mu(\zeta)}{z-\zeta}$  ナル形=表ハサレ  
ルコトが原因スル。(コト=  $\mu(\zeta)$  ハ  $E$  上ハ、Mass) 分  
布ヲ表ハス。又、 $f(z)$  ハ  $\infty$  = 於テ0デアルモノトスル。  
コレハ  $f(z)$  ハ  $\infty$  = 於テ正則ト假定シテアルカラ常数ヲ引  
イテオケバヨイ。又コノ積分、意味ハ後ヲ説明スル。

第二=、2-2° = テ  $E$  / linear measure が有限  
デアレバヨイコトデアル。

4) Frostman These 48p. 紙上談話會 83号 372.

harmonic function, 場合 =  $\infty$  之  $\nu$  = 對應スル定理  
 ハ得ラレテキナイ。 ( $E$  /  $(\log \frac{1}{r})^{-1}$  = 閉スル measure  
 が有限ナルトキ  $E$  /  $\log \frac{1}{r}$  = 閉スル capacity が 0 =  
 ナルカドウカハ未ダ解決サレナイ。

又  $E$  以外 = テ harmonic ( $\infty$  = テ  $\log \frac{1}{r}$  / 形)  
 = シテ  $E$  ヲコメテ連続ノ函数が存在スルタメ = 必要且十分ノ  
 條件ハ求メラレテキナイ)

次 = .2 — 1° ハ Urysohn ノ 結果ヲ含シテキル。  
 Cantor ノ 集合  $P$  = 於テハ  $h(t) = t^{\frac{2}{3}}$  = テ測ツク外測度ガ  
 正デアリ。

最後 = Pompeiu ノ 研究 = 於テハ Minkowski,  
 linear measure が現ハレタガコレガ Hausdorff,  
 measure ヲ置キカヘラレルコトヲ示ス。 Minkowski,  
 linear measure が 0 ナラバ Hausdorff, linear  
 measure モ 0 トナルガ Minkowski, linear mea-  
 sure が正又ハ  $\infty$  = テ Hausdorff, linear measure  
 0 トナル集合ガ實際存在スル。